

直前期・受験生の心得八か条

- ◇ できる人ほど「リズムカル」…規則正しい生活を!
- ◇ できる人ほど「寝るときゃ寝る」…睡眠時間を削るのはご法度!
- ◇ できる人ほど「あっちこっち」…気分転換も兼ねて時には勉強場所も変えてみる!
- ◇ できる人ほど「よく食べ&よく動く」…1日3食&適度な運動で「脳」を活性化!
- ◇ できる人ほど「切り替え上手」…模試や演習の結果に振り回されず、弱点補強に集中!
- ◇ できる人ほど「ゆとりあり」…計画は8割実行でもOK、変に自分を追い込むな!
- ◇ できる人ほど「プラス思考」…悩んでも得点に繋がらないことは無視! 前へ!!
- ◇ できる人ほど「自分を信じる」…最後まであきらめない! 決して逃げない!!

冬期補習の会場が決まりました。 ~有意義に~

講座	講座名	担当者	実施日	実施時間帯	補習会場
1	数学IA センター演習	花野井	12/26, 27, 1/7, 8	9:00 - 10:30	大講義室
2	数学IIB センター演習	花野井	12/26, 27, 1/7, 8	10:40 - 12:10	大講義室
3	物理 頻出問題演習②	金森	12/26, 27, 28	12:40 - 13:40	物理講義室
4	物理 センター演習	金森	12/26, 27, 28	13:50 - 15:10	物理講義室
5	英語 センター演習	英語科	12/26, 28, 1/4, 7	15:20 - 16:40	大講義室

先輩の「センター試験アンケート」から① ~試験会場編~

(注:今年の試験会場は「日本工業大学」です。以下は昨年、芝浦工大で受験した130回生の体験談です。)

当日の交通状況(参考:昨年の「芝浦工大」のケース)

▼受験生が同じ電車に乗るので混みます(特に1日目)。私は開門時間に合わせて早めに行ったので、意外と混んでいませんでした。▼改札が混むので注意!▼車両点検のため10分遅延したので、予定していた電車に乗れなかった。不慮の場合を見越しての行動をしよう!▼2日目、参考書を見ながら電車に乗っていたら乗り過ごしてしまいました。想定外のことが起こると焦りますので気をつけてください。

会場までの道 ※当日スクールバスは運休日です。

最寄駅は「東武動物公園」駅(東武スカイツリーライン(伊勢崎線)・日光線、東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通)です。「東武動物公園」駅西口から徒歩14分です。▼普段と同じを心がけ、会場まで歩きましょう。

試験会場の様子(参考:昨年の「芝浦工大」のケース)

▼外は寒いが、会場の中は暑かった。▼きれいだったが椅子が堅かったので腰が痛くなった。▼試験会場の教室

に時計は無かったので注意!腕時計は必要。▼とてもきれいで受験しやすかった。休み時間は模試とたいして変わらなかった。大講義室にあるような長机の両端に座った。机と机の間隔が狭いので足が伸ばせなかった(前の人も自分も椅子の下には荷物が置いてある)。▼換気がないのであまり空気が良くない。周りに不動岡生が多い。▼休み時間は、試験を受けている教室もあるのであまり騒ぎすぎない。

トイレ(参考:昨年の「芝浦工大」のケース)

▼非常にきれい。大行列でしたが友達と話せるので落ち着く。意外と時間はかかりません。▼広いので混んでいても「用を足せない」というほどでもない。▼トイレの場所は、会場に着いたら確認しておいた方が絶対いい。▼女子トイレはかなり混むことを覚悟して!▼男子トイレはそこまで混まない。心配無用。▼すごく長い列ができますが、時間はたくさんあるので焦らないで!▼休み時間ごとにトイレには行った方がいい。試験終了直後はとても混む。会場は2階から上だったので、1階のトイレは「穴場」でした。昼食の後とても混む。

廊下、寒さ対策 etc. (参考:昨年の「芝浦工大」のケース)

▼ちょっと寒い休憩時に廊下に出ると気分転換になる。▼ずっと座っているので、ちょっと廊下を歩き回ると良い。意外とざわついているのでリフレッシュできます。▼休み時間にはほとんどの人が廊下に出ている。通路やトイレのスペースが広く取られているのが救いだった。▼建物内は暖かく、厚着をしていくと暑いくらい。あまり心配しなくて大丈夫です。▼ヒートテック+Yシャツ+カーディガン+学ランで行ったが、教室内は学ランを脱ぐとちょうどいい感じだった。▼調節のきくようにした方がいいが、室温などはちょうど良かった。タイツをはいていった。手が冷えると書きづらくなるのでホッカイロを持って行った。

その他

▼ウォークマンやipodなどの音楽機器で周囲の声を遮るといい。友人と会話になっても、「何ができた、できなかった」といった内容は避けた方がいい。▼1日目は長いので、最後の英語2つは集中力が切れてしまった。長丁場になるので集中力の持続が大切と分かっていたのに続かなかった。センター当日の時間割を踏まえた演習をもっとすべきだと思う。2日目は緊張感に欠けた。やはり適度の緊張は必要だと思った。▼試験前夜なかなか寝付かれず結局2時頃まで起きていることになってしまった。普段から夜遅くまで起きている生活をしていて、それを改善しきれなかったためのミスだと思います。▼試験会場には1時間前くらいに着き、自分で作ったミニ確認ノートを使って復習した。手頃なサイズで使いやすいし、ノートを見ることで、「自分はこれだけやったのだから大丈夫!」と自信もつながら、落ち着いて試験にも臨めた。▼国立理系の人、数学や英語などに時間をかけがちになってしまうが、国語で失敗をすると配点が高い分かなり痛いからしっかりやっておいた方がいい。▼会場へは友達と行くことをおすすめします。歩きながら問題を出し合っていたのですが、本番で同じ問題が4つくらい出ました。ニヤニヤしながら解きました(笑)。▼センター直前になると休む人が出てきますが、私は休まなくて本当に良かったと思っています。直前の授業でやったものと同じ図や問題が出題されました。それに、家や塾で一人でやっても暗くなりそうだったし、学校で友達や先生に会うことで励まされて直前でもがんばれました。▼前の席の浪人生が、英単語入りのジャケットを着ていて英語の時間に脱がされていた。▼実力を持ったライバルが、当日80%の力しか出せず落ちることも起きるのだから、自分はいつも通り100%の力を出せばいいんだと考えた。▼受験票の写真はコンタクトで撮ってしまったが、本番は眼鏡で受けることにした。本人確認の時は大丈夫かと心配だったので、試験官が近づいてきたら眼鏡を外した。(②は次号掲載予定です)

☆◇センター試験まであと30日とことん学習漬けの日々をおくってくださいね。☆◇